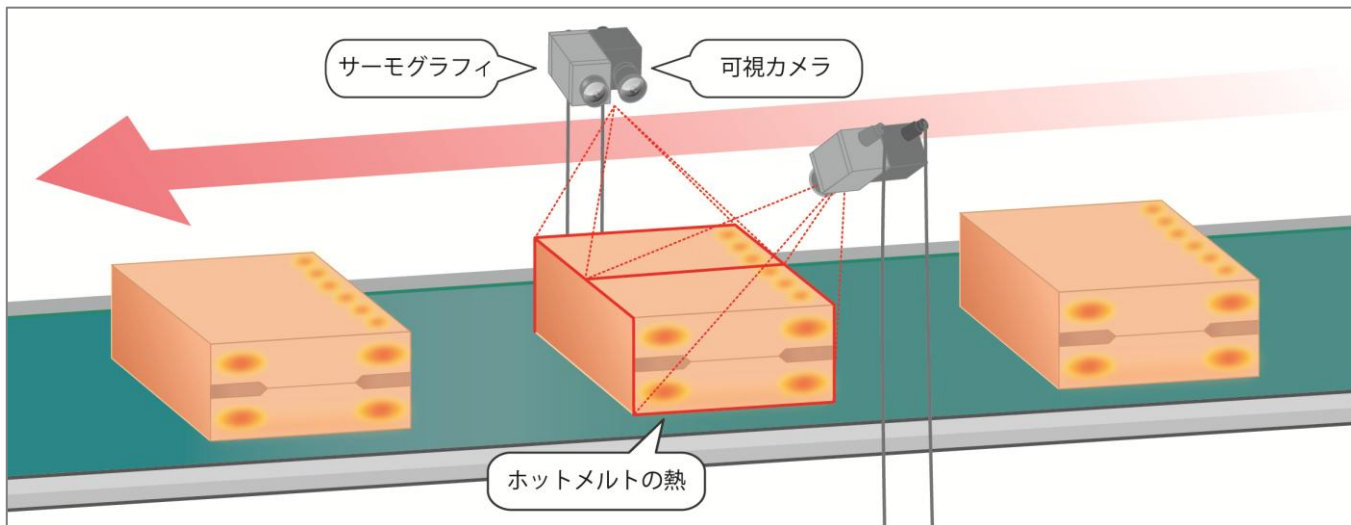


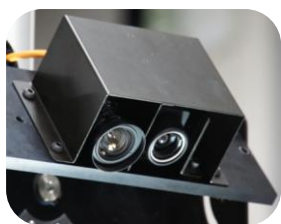
# ホットメルト チェッカー Hotmelt Checker

サーモグラフィと可視カメラを用いたホットメルト接着不良検査システム



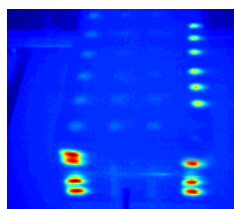
## 高度なホットメルト接着検査システムをリーズナブルに実現

(左)サーモグラフィと(右)可視カメラをセットにした「カメラユニット」



撮影

サーモグラフィを用いてホットメルトの熱を捉える

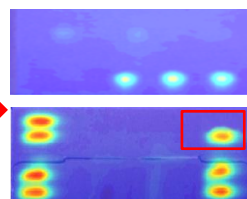


+

可視カメラを用いて段ボールの位置を特定



検査領域を抽出しホットメルトの位置・面積を検査



- 可視画像から特定した段ボールの位置情報によって熱画像を補正。ホットメルトの位置や面積を正確に捉えることができます。
- サーモグラフィ「CPA-A15W<sub>※</sub>」を搭載したカメラユニットで、段ボールの上面・側面を同時に撮影。カメラユニットを2台に抑え、ホットメルト接着検査を低コストで実現します。

※株式会社チノ様取り扱いの「固定形小形熱画像装置」

## 導入のポイント

### 既設ラインへ後付け可能

ライン上に設置するのはサーモグラフィと可視カメラを1セットにしたカメラユニット2台のみ。既設ラインを組み替えることなく導入いただけます。

### 生産切り替え時の段取り調整が容易

生産の切り替えの都度、カメラユニットの位置・角度を調整する必要が無いため、多品種少量生産ラインへの導入に最適です。

### 環境温度の変化に依存しない

ホットメルトの検出温度を自動補正することで、工場内の気温変化が大きい環境でも、一年を通して正常なホットメルト接着検査を実現できます。

# システム画面

## ● メイン検査画面



## ● 品種選択画面



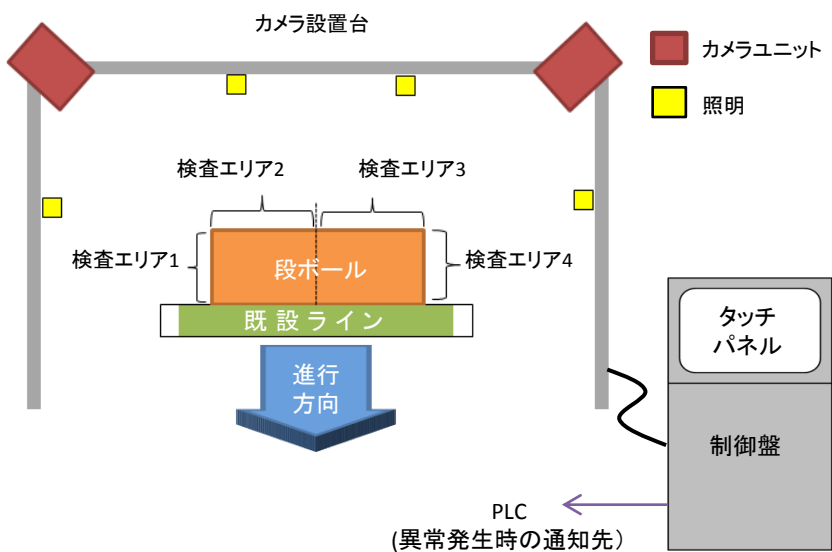
## ● NG履歴画面



品種毎の段ボール情報と検査基準となるホットメルトの位置・面積を最大50件登録できます。「品種選択画面」より容易に品種切り替えができます。

ホットメルト接着不良の履歴を最大50件保持します。接着不良の状態は、「NG履歴画面」より確認することができます。

# システム構成図



# 動作環境

ホットメルト温度	外気温差+10℃以上
ライン速度	～ 1000 [mm/sec]
タクトタイム	最大 50[ケース/分]

# 導入例

段ボールサイズ	270 x 210 x 410 [mm] (WxHxD)
カメラ設置台サイズ	幅 : 1200[mm] 高さ: 500[mm] ※ ※既設ラインの高さを基準
制御盤サイズ	600 x 1000 x 300 [mm] (WxHxD)

※段ボールサイズ、カメラ設置台サイズは、お客様の環境に合わせて調整いたします。

お客様の多種多様な課題・使用目的に応じて柔軟にカスタマイズいたします。  
お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ



東杜シーテック株式会社 - ビジネスセクション -

TEL.022-354-1230 FAX.022-354-1991

E-mail business@tctec.co.jp HP <http://www.tctec.co.jp>

